

【Ⅰ 基調】

1. 本校における学校教育目標

「挑戦」と「レジリエンス」

～挑戦に拍手!つまづきにエールを送る学校～

2. 目標設定の背景

- ① 本市教育理念(教育大綱)及び本市教育振興基本計画の各所で掲げられているキーワードである「挑戦」に本気で取り組むべく一点集中の目標としました。
- ② 激変する世の中を生き抜くために何よりも必要となる要素が、自らの変化をおそれず新しい可能性に挑戦し続ける姿勢であると考えます。
- ③ 挑戦に失敗はつきものです。そこで大切なことは、失敗した後の立ち直る力とがんばりなおす姿勢＝「レジリエンス」をいかに育成していくか、その点を学校にいる仲間とともに、協働の学びを通じて育みたいと考えます。

3. 目指す子ども像

「わかる・できる・考える」子どもの育成(従来を踏襲)

→知育・徳育・体育の三要素育成を継続・発展させます。

知育:着実な学力向上 徳育:豊かな心の醸成 体育:健やかな身体づくり

【Ⅱ 各論(基本方策)】

1. 学校教育目標の基本方策について

前項の基調に基づき以下の項目を本校における教育基本方策とします。

- ① 確かな学力と自立の力を育てる教育の充実(知育)
- ② 豊かな心と健やかな身体を育てる教育の充実(徳育・体育)
- ③ 教職員の資質と指導力の向上(育成基盤 1)
- ④ 学びのセーフティネットの構築(育成基盤 2)
- ⑤ 家庭・学校・地域との連携(育成基盤 3)

2. 基本方策実現のための重点項目について

上記基本方策を実現していくために以下の重点項目を定めます。

- ① 確かな学力と自立の力を育てる教育の充実(知育)に関する重点項目
 - i 「分かる」「できる」を実感する。
 - ii 仲間と協働して学ぶ。
 - iii 家庭学習を充実する。
 - iv 読書を習慣化する。
- ② 豊かな心と健やかな身体を育てる教育の充実(徳育・体育)
 - i 豊かな心を育成する。
 - ii 自己有用感を向上させる。
 - iii 人権教育を充実させる。
 - iv 体力を向上する。
 - v 食育を推進する。
- ③ 教職員の資質と指導力の向上(育成基盤 1)
 - i ICTを活用し、業務改善を図る。
 - ii 校内研修体制の整備及び校外研修等への積極参加。
 - iii 初任期指導体制の整備。
- ④ 学びのセーフティネットの構築(育成基盤 2)
 - i 生徒指導を推進する。
 - ii 安全教育を推進する。
- ⑤ 家庭・学校・地域との連携(育成基盤 3)
 - i 情報発信を充実させる。
 - ii 家庭との連携の充実を図る。